

建設標

アナログな対応 日本の実力

クレジットカードの番号が変わったので、カード払いにしている国民年金の変更手続きを行いました。

番号を変更するだけなのに、ネット上で手続きができず、変更の「申し出書」を印刷して必要事項を記入し、郵送で申請しました。すると1週間後、年金機構から本人確認をするため、

「マイナンバーカードの写しを2週間内に提出せよ」との特定記録郵便が届きました。あまりのアナログな対応にいら立ちを覚えました。冷静になってみると、この程度が今の日本の実力なのだ、と悟りました。

ゲートは「現実を直視する心に本当の理想が生まれる」と書きましたが、デジタル分野での

現実を見てみると、日本は海外から大きく水をあけられており、その最たるものがこうしたお役所手続きだと思えます。

批判をするのは簡単ですが、責任の一端は、国民である私にもあります。このことを自覚して、自分にできることから行うしかないなどと考えながら、マイナンバーカードのコピーをとりました。

長野市 板谷健太郎

（弁護士・46）